

考えてみよう! なぜ間伐が必要なのだろう?

森林をよく
見てみるのじゃ。



2つの写真を見てどんなちがいに気づくかな?

下の2つの写真は、人によって植えられた森林(人工林)の写真です。上の写真が間伐をする前の森林、下の写真が間伐をした後の森林です。

どのようなちがいに気づきますか。どうして間伐が必要なのか考えてみましょう。

間伐をする
前の森林



間伐をした
後の森林



くらべてみよう

- ・木の本数
- ・木の太さ
- ・光の届き方
- ・明るさ
- ・下草の有無
- ・他にもあるかな?



健康な森林に育てるためには「手入れ」すなわち「間伐」が必要です。

家の柱や板などの材料にするためには、まっすぐで太い木を育てる必要があります。そのために間伐を行います。また、間伐をすることで森林の中に光が入って、しっかり根を張った元気な木が育ち、地面には下草も生えて山くずれや洪水を防いでくれます。わたしたちの暮らしを守るためにも、間伐はとても大切な作業です。

メモ



熊本県の
県木です
クスノキの木

今、森林をとりまく 問題には何があるの?

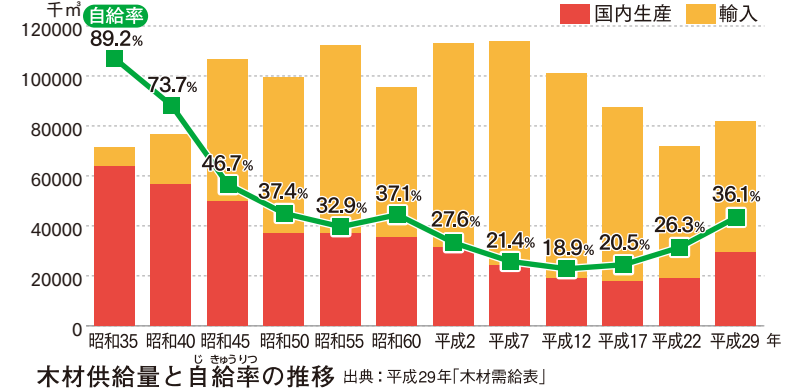
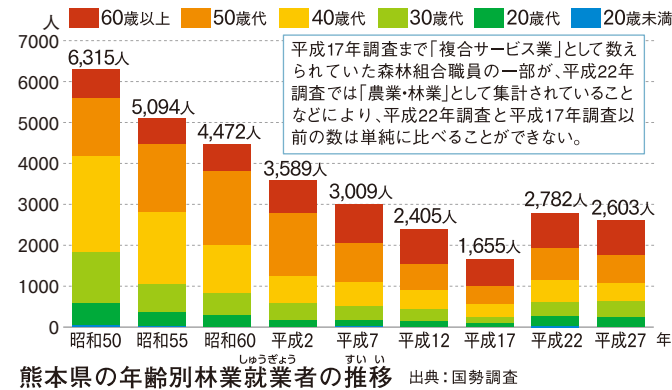
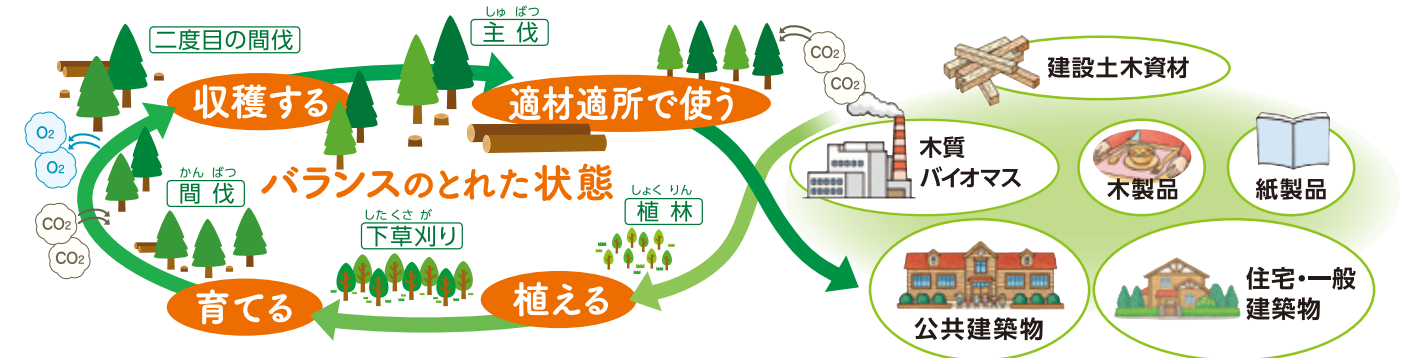
みんなで考え
ないといけない
問題じゃのう。



木材を使えば、森林が豊かになります

森林は、地下水を育み、山くずれを防ぎ、二酸化炭素を吸収するなどの働きのほか、再生産可能な資源である「木材」を生産する大切な場所です。この森林を健全な状態で未来へ引き継いでいくためには、『成長した木を伐採(収穫)、木材として利用し、その後に再び木を植え、育てていくというサイクル』を繰り返すことが必要です。現在、熊本県の森林の大半は、木が成長し伐採可能な状態になっているため、伐採して木材を利用しないと、手入れがされず荒れた森林が増加し、森林の様々な働きが十分発揮できなくなることも考えられます。

熊本県産の木を使うことは、熊本の森林とわたしたちの生活を守ることに繋がります。



木材の利用や森林を守る新たな動き

外国への輸出増加や、エネルギー生産における間伐材などの活用、これまであまり木材が利用されなかった大型施設や公共工事など、様々なところで国産の木材を利用する動きが進んでいます。

また、森林の整備や林業で働く人の育成などに必要な費用を、国民全体で負担し、協力して森林を守っていくため、新たな税*1が平成31年4月に創られました。

*1: 国民が納める税を「森林環境税」といい、2024年度(令和6年度)から課税される。国から都道府県及び市町村に交付される税を「森林環境譲与税」といい、2019年度(令和元年度)より交付が開始される。

*2: 間伐された木や、木材を加工する際に出る切れ端などを燃料として活用する木質バイオマス発電が広がっている。



木質バイオマス発電*2
やっしろう
八代市